

## 令和元年度新潟市歯科保健推進会議 会議概要

日時：令和2年2月5日（水）

午後7時00分～8時40分

会場：新潟市総合保健医療センター講堂

### 1 出席者

#### 【委員】

荒井委員、石井委員、井上委員、上原委員、江面委員、大滝委員、小川委員、柄沢委員、佐藤委員、長井委員、長谷川委員、葭原委員

（欠席）小松崎委員、丸山委員

#### 【事務局】

野島保健衛生部長、高野次長、高橋保健所長、岸副参事、伊藤保健所健康増進課長、岩谷医監、瀧澤課長補佐、藤山主幹、平野主査

#### 【関係課】

障がい福祉課、地域包括ケア推進課、保険年金課、こども家庭課、保育課、地域医療推進課、食と花の推進課、保健給食課

#### 【傍聴者】 0名

### 2 議題

- (1) 新潟市生涯歯科保健計画（第5次）評価指標及び現状について
- (2) 新潟市生涯歯科保健計画におけるライフステージ毎の主な取組状況

### 3 概要

議題（1）新潟市生涯歯科保健計画（第5次）評価指標及び現状について

- 特に意見なし

議題（2）新潟市生涯歯科保健計画におけるライフステージ毎の主な取組状況

- 乳幼児期、園児・学齢期について
  - ・ 西蒲区で作成したリーフレット「みんなで楽しくハハハの歯」「くちトレ今日から始める20の習慣」は、分かりやすくて良い。市歯科医師会と協力して、啓発に取り組んでいって欲しい。
  - ・ こどものむし歯については、これまでの取組の結果、区間の差が減ってきている。
  - ・ 「間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ3歳児の割合」だけを取り上げるのではなく、3歳以降のフォローが大切。食育バランスガイドのコマには砂糖についての記載はないが、食育を通して歯科保健について取組を進めると、う蝕のみならず、歯肉炎予防にも繋がるのではないかと。
  - ・ 小中学校の巡回歯科指導については、平成30年度から区を限定して実施しているが、対象区をどのように選定し、事業展開していく予定なのか。  
→事務局：区の歯科保健の状況を見ながら、実施する区を選定。一年度内に全区で事業を実施することは難しいが、実施方法を工夫して、全区展開していけるよう検討していきたい。
- 成人期、高齢期、障がい（児）者・要介護者について
  - ・ 歯科保健に課題がある地域は、歯科に限らず、生活習慣全体について課題がある場合が多い。歯科に限らず、生活習慣病予防対策に歯科を加えて取り組んでいけたら良いのではないかと。
  - ・ 企業に対して、健康経営のような取り組みは良い。高校卒業、大学入学、企業入社など、ど

の時期を捉えて対策を講じていくのか考えなければならないが、生活習慣病と絡めて、モデル的な取り組みができれば良い。

- ・ 「ちょいしお」の取組のように、栄養関係の取組は楽しい。歯科健診など歯科保健の取組は硬い、真面目なイメージ。楽しく、市民みんなで取り組める事業ができれば良い。
- ・ 後期高齢者では、低栄養が問題となり、フレイル、寝たきりへと繋がって行く。オーラルフレイル予防を進める際に、低栄養予防の観点も取り入れると良い。
- ・ 若い世代へ歯科保健対策を講じていく際には、SNSを活用した方がよい。
- ・ 今の子ども達は、歯が悪くなくても歯科医院へ行っている。親の手を離れてからが問題ではないか。
- ・ 訪問歯科診療を実施する歯科医院の数は増えていないが、訪問歯科診療を行った件数を見てもみると、訪問歯科診療の広がりが見えてくると思う。
- ・ 特別支援学級の子どもたちの中には、保健室であれば歯科健診を受けることができる子どもも居る。学校健診の場が、診療所での診療へと繋がる“出会いの場”となるのではないか。

#### 【配布資料】

次第、座席表、新潟市歯科保健推進会議委員一覧

資料1：新潟市生涯歯科保健計画（第5次）評価指標及び現状について

資料2：新潟市生涯歯科保健計画におけるライフステージ毎の主な取組状況

資料3：主な評価指標データの年度推移

資料4：新潟市お口の健康長寿健診について

資料5：新潟市口腔保健福祉センターの取組状況について